

患者さんが安心して末永く通院できる
快適な施設を目指して

医療法人 八田内科医院 ニュースレター vol.6



Hatta Medical News

八田内科医院の糖尿病に対する取り組み

HbA1c目標値

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your A1c below 7%

熊本宣言2013

第5回 日本糖尿病学会 年次学術集会

研究が盛んに行われた熊本県の研究結果をもとに、正常化を目指す場合は、6%未満、合併症予防のためには、7%未満、治療強化が困難な場合は8%未満となっています。ただし、大切なのは、HbA1cを下げるのが目標ではなく、あなたが糖尿のない人と同じように元々よく生活できることです。数字に振り回されることなく、自分に合った目標値を医師、看護師と相談しましょう。

糖尿病地域連携パス

当院では、日本バプテスト病院糖尿病内科（米田紘子先生）と密接な地域連携を行っています。糖尿病専門医に適切なアドバイスを受けながら、二人主治医制で治療に臨むこともあります。先日は、『修学院糖尿病カンファレンス』を行い、双方の詳しい情報交換を通して最新の治療や指導方法を学び、少しでも患者さんのためになるよう積極的に取り組んでいます。

2. 修学院糖尿病カンファレンス

2014年11月15日(土) 13:00-15:30
アビカールン 「縁の国」

主催 熊本県糖尿病協会
協賛 熊本バプテスト病院 八田内科医院

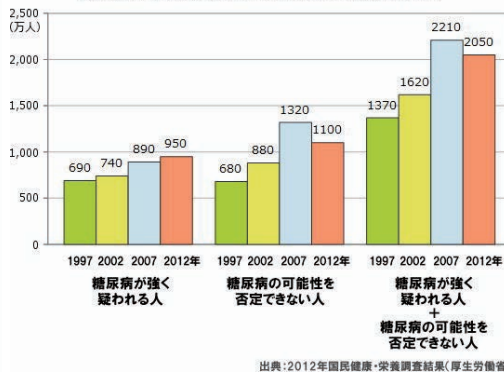
講師 八田内科医院 院長 八田啓先生
講師 日本バプテスト病院 糖尿病内科 米田 紘子 先生

テーマ：糖尿病合併症に対する
最新の治療方針を学ぶ

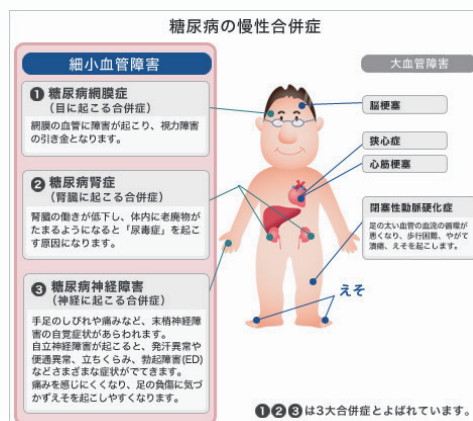
協賛 八田内科医院 八田 啓 先生

糖尿病は、第二の国民病と言われるほど患者数が多いと言われています。厚生労働省の資料によると、糖尿病とその予備軍を合わせると2050万人いると言われています。糖尿病の予備軍は減少に転じたものの、糖尿病と診断される方は、未だに増加傾向です。

「糖尿病」と「糖尿病予備群」の合計は2,050万人(2012年)



糖尿病の合併症は『しめじ』と覚えてください。“し”は、神経症(手足のしびれ)、“め”網膜症、“じ”腎臓病です。その他、大血管合併症として、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症(足の血管がつまる病気)が起こります。これらの合併症を早期から予防する必要があります。血糖やHbA1cのみならず、心エコーや頸動脈エコーなどの画像検査も、定期的に受けることをお勧めします。



皆さん、明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。今年も未年で、告院長は年男です。

さて、今回の「Hatta Medical News」vol.6は、通院患者さんの中でも大変多い疾患の一つである『糖尿病』に関する話題を取り上げました。糖尿病の方、まだ薬は飲んでいないけど予備軍と言われている方、必見です。今後も最新の治療や生活習慣についても特集していく予定です。ご期待ください！

また裏面には、最新のインフルエンザ情報を掲載しました。あなたは今年、インフルエンザを防御できるでしょうか？

今回のスタッフ紹介は、“てきばき事務員”佐々木良子さんです。大変熱心で、呑み込みの早い方ですが、意外なものに凝っているとか、。その素顔に迫ります。どうぞご期待下さい！

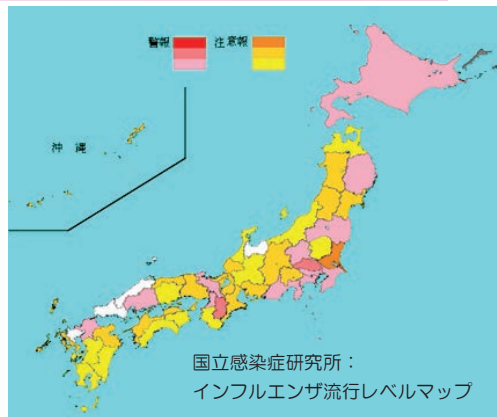
1, 2, 3月 休診

- *1/5(月) 一郎先生休診
 - *2/24(火) 文裕子先生休診
 - *2/25(水) 一郎先生休診
 - 夜診 文裕子先生休診
 - *3/18(水) 夜診 医院休診 (職員研修のため)
 - *3月16日-5月10日 一郎先生休診
 - 月・水午前 院長通常通り
 - 4月から金 午前 文裕子先生代診
- 以上、予めご了承ください。

今年もインフルエンザの季節がやってきました



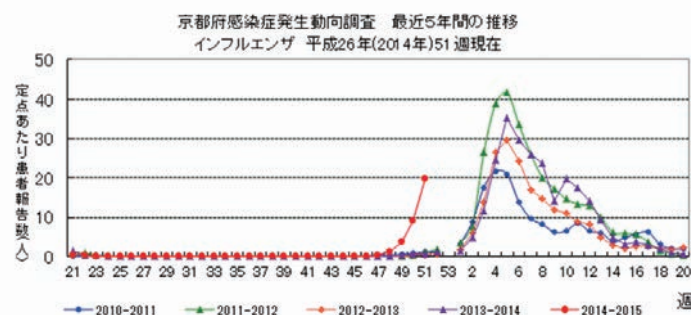
今年もインフルエンザの流行が始まりました。第51週（2月15日～21日）の一週間の京都府のインフルエンザ報告数は、定点あたり報告数（1つの医療機関あたりの平均報告数）が、17.72になり、インフルエンザ流行発生注意報が発令されました。下記のグラフ（京都府）で見ると、第47週まではほとんど0で横ばいだった赤いラインが、第48週以降立ち上がってきたのがわかります。他の色の線（過去5年間）はまだまだ立ち上がっていない時期なので、今年は例年になく早く流行し始めたこととなります。国立感染症研究所発表の流行レベルマップ（右の地図）を見ても、京都府はオレンジ色になっていて、間もなくピンクに変わりそうです。このニュースレターが皆さんのお手元に渡るころには、流行のピークに入っているかもしれません。



インフルエンザの予防は、ワクチンと手洗いとマスクです。不摂生をせず、規則正しい生活を心がけることも、免疫力を保つのに非常に大切です。また、風邪やインフルエンザに罹った時には、出歩かず体を休めてください。他の方への感染を予防するために、**マスクを着用し咳エチケットを守りましょう。**



発熱や発疹などの症状がある場合、医院を受診される前にお電話をいただきますよう、ご協力をお願いします。できるだけお待たせせず診察できるよう、来院していただく時間をお伝えいたします。（電話番号：701-4805）



介護保険の申請・更新に際して

介護保険を更新する方、またこれから申請する方へのお願いです。要介護認定を受けるためには、『主治医意見書』が必要です。本人あるいは介護される方がどのようなことにお困りなのか？介護を行う上で何が問題なのかをお聞きしないと書類を書けません。この書類は告院長がすべて作成しています。そこで、役所あるいはケアマネジャーから介護認定の申請あるいは更新の時期を告げられたら、**速やかに告院長の診察を受けて、現在お困りなことなどについてお伝えください。**必要ならご家族も同伴して下さい。皆さんにとってより適正な要介護認定を受けるためにご協力を宜しくお願いします。



スタッフ紹介 佐々木良子さん

こんにちは、受付の佐々木良子（ささき よしこ）です。八田医院に勤めて7年目になります。この春に末っ子が高校を卒業し、子育てがやっと一段落します。この頃は、甥や姪の子供と接して、私も早く孫が欲しいなあと思うようになりました。



4年程前から寒い時期には“生姜茶”にはまっています。毎朝、生姜をたっぷり入れて飲むので手足がポカポカして良いですよ(*^▽^*)

これからも“明るく、笑顔で”を忘れずに皆様へ接していきたいです。今後とも宜しくお願いします！森 直子さん（看護師）から見ると『佐々木良子さんは、仕事は確実・丁寧です。待合の患者さんにも目を配って、いつもと違うところを発見しては、看護師に伝えてくださいます。患者さんに対する思いが偏らないように、平等にしないで、...という思いも強い方です』だそうです。次号は、“奥深い看護師”、森 直子さんを紹介します。どうぞご期待ください！



一郎先生 膝の手術のため休診

以前より患っている変形性膝関節症のため、一郎先生が京都大学病院整形外科で手術を受けます。**2015年3月16日からGW明けの5月10日（予定）まで休診になります。**合わせて、上記休み期間中に白内障の手術も受けます。2つの手術が無事成功するよう、皆さん応援宜しくお願いします！

なお、**月・水午前は院長のみで、混雑**が予想されます。**4月以降、金午前は文裕子先生が代診**されます。ご不便をおかけしますが、皆さんのご理解とご協力を宜しくお願いします。

